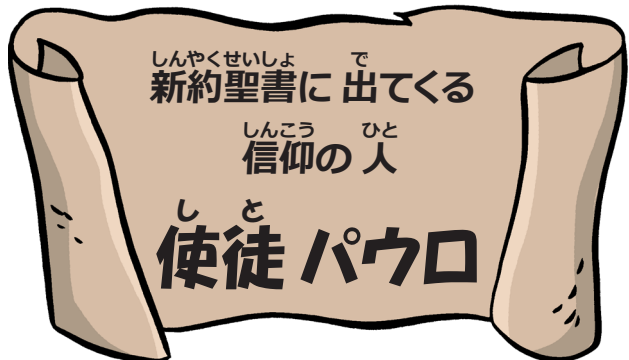


いつまでも ぞんぞく 存続する  
 ものは、しんこう 信仰と きぼう 希望と あい 愛と、  
 この みつ 三つである。このうちで もつと 最も  
おお 大いなるものは、あい 愛である。<sup>1</sup>



パウロは じぶん 自分のことを「つきた 月足らずで  
 生まれたような もの 者」と言っています。それは、  
 彼が かれ 使徒になったのは、さま イエス様が し 死んで  
あと よみがえられた あと 後だったからです。<sup>2</sup>



それどころか、パウロは、さま イエス様への しんこう 信仰を  
こくはく 告白して じんせい 人生を さま イエス様に まへ ささげる まえ 前は、  
さま イエス様に したが 従う もの 者たちを はくがい 迫害する ちゅうしんじんぶつ 中心人物の  
ひとり 一人でした。そして、さいしよ 最初の じゆんきやうしゃ クリスマン殉教者  
 ステパノが いし 石で う 打ち殺される ば 場にもいたのです。<sup>3</sup>



<sup>1</sup> だいいち 第一コリント13:13、<sup>2</sup> だいいち 第一コリント15:8-9と <sup>3</sup> しとぎやうでん 使徒行伝7:54-60を よ 読んでみましょう。

パウロは、人々（主にユダヤ人やギリシャ人やローマ人）にイエス様のことを伝えるため、小アジア中を旅し、さらにローマにも行っています。パウロは大勢の人々のイエス様への信仰を勝ち取り、行った先々で信者の群れを築きました。

使徒行伝には、パウロの宣教旅行の様子が、最後のローマに行くまで記されています。新約聖書の大部分は、パウロが信者に書き送った手紙から成っています。それらの手紙には、ローマ人への手紙、コリント人への第一の手紙、コリント人への第二の手紙、ガラテヤ人への手紙、エペソ人への手紙、ピリピ人への手紙、コロサイ人への手紙、テサロニケ人への第一の手紙、テサロニケ人への第二の手紙、テモテへの第一の手紙、テモテへの第二の手紙、テトスへの手紙、ピレモンへの手紙があり、おそらくはヘブル人への手紙もでしょう。



パウロの手紙を勉強すれば、わたしたちも、イエス様に従うことについてたくさん学ぶことができます。

注：パウロは、新約聖書でサウロとも呼ばれています。ヘブル語での名前はサウロであり、ギリシャ語での名前がパウロになります。